

GOVERNOR'S #1

MONTHLY LETTER / May 2016 RID2840



To Rotary club presidents and secretaries

国際ロータリー第2840地区 2015-2016年度 2016年5月 ガバナー月信



青少年奉仕月間

旧土岐家住宅洋館 登録有形文化財 / 群馬県沼田市

月信目次

ガバナーメッセージ 1

青少年奉仕月間によせて 4

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害に係る義援金について 6

熊本地震復旧支援募金のお願い 6

事業報告

第 5 分区 IM 報告 7

第 2 分区 B IM 報告 8

新会員紹介 9

文庫通信 11

出席報告 12

ガバナー事務所よりお願い 13



GOVERNORS MESSAGE

2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰



2016 年5月 青少年奉仕月間にあたって

会長、幹事、会員の皆さん、こんにちは。長い冬を乗り越えた花たちが、一斉に咲き乱れ、暖かな南風を受けて、光溢れんばかりに輝いています。鳥や虫たちもその命の素晴らしさを謳歌し、正に春爛漫となりましたが、皆様に於かれましては如何お過ごしでしょうか。

しかし、このような季節にあって、九州地方では大震災に襲われています。私の同期ガバナー(R I D 2 7 2 0)の野田三郎様の会社も大きく被災されました。心からお見舞いを申し上げます。また、たくさんの尊い命も失われ、この場をお借りして衷心より哀悼の意を捧げます。合掌。

さて、青少年奉仕月間にあたり、これを機会に青少年にとっての奉仕活動の意義について考察し、その具体的な実践のあり方を探ってみたいと思います。

今日、いじめ、暴力行為、引きこもり、凶悪犯罪の増加など青少年を巡り様々な問題が発生し、深刻な社会的問題となっています。こうした問題の背景には、様々な要因が考えられますが、思いやりの心や社会性など豊かな人間性が青少年に育まれていない現実とともに、他者を省みない自己中心的な大人の意識や生き方、さらには様々な社会的課題に対し行政だけでは対処しきれない実態があると思います。

この閉塞状況を改善するためには、「奉仕活動」が、問題を解く糸口となるのではないのでしょうか。「奉仕活動」は、人や社会、自然とかかわる直接的な体験を通して、豊かな人格形成に役立つことでしょう。我々大人にとっても、家族や周囲の人々、地域や社会のために何かをすることで喜びを感じるという、人間としてごく自然な暖かい感情をひき起こし、個人が生涯にわたって、「より良く生き、より良い社会を作る」ための鍵となります。すなわち、「世界のプレゼントになる」ことの実践であります。そのためには、私たち一人一人が「奉仕活動」を日常生活の中で身近なものにとらえ、互いに支え合う意識をもって生活していくことができるような環境を、皆で協力して作り上げていくことがとても大切です。



GOVERNORS MESSAGE

2840 地区 2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰

2016 年5月 青少年奉仕月間にあたって

そこで、インターアクター(※)にとっての意義は次のように考えます。社会奉仕体験活動、自然体験活動、職業体験活動など様々な体験活動を通じて、他人に共感すること、自分が大切な存在であること、社会の一員であることを感じ、思いやりの心や規範意識を育むことができます。また、広く物事への関心を高め、問題を見つけたり、困難に挑戦し解決したり、人との信頼関係を築いて共に物事を進めていく喜びや充実感を体得し、指導力やコミュニケーション能力を育むことができます。さらに、積み重ねた様々な体験が心に残り、自立的な活動を行う原動力となることも期待され、このような体験を通じて市民性、社会性を獲得し、新しい「公共」を支える基盤を作ることにつながるものと確信しています。

次に、ローターアクター(※)にとっての「奉仕活動」の意義について考えてみます。「奉仕活動」という、実社会における経験を通して、社会人としての一步を踏み出す前後の時期に、地域や社会の一員としての自覚や良き市民としての自覚を持つことができます。また、この時期の比較的自由にまとまった時間を活用して、例えば、長期間の奉仕活動等に取り組んだり、職業経験を積んで再度大学等に入り直したりなど、実体験によって現実社会の課題に触れ、視野を広げ、その後の自分の生き方を切り開く力を身に付けることができます。また、特に、学生にとっては、何を目指して学ぶかが明確になって学ぶ意欲が高まり、就職を含め将来の人生設計に役立てることができるでしょう。

以上、このような狙いを達成するためには、教育委員会、社会福祉協議会、NPO 関係団体、スポーツ団体、青少年団体等地域の関係機関・団体、RC が連携し、地域での多様な幅広い奉仕活動・体験活動の機会を拡充しつつ、青少年の活動への参加を積極的に促していく必要があるとおもいます。国の調査によると、過去にボランティア活動を行ったことがある人及び現在活動を行っている人は、3 人に 1 人に過ぎない状況にあり、活動の妨げの原因としては「ボランティア団体に関する情報がないこと」を挙げる人が約 4 割を占め、国や地方公共団体に望むこととして、情報提供や相談体制の整備を挙げる人が多いという。この課題を解決するためには、上記の機関が、言わば「地域ネットワーク」を形成し、先ず、国及び地方を通じた情報システムを整備し、コーディネーターの養成及び確保を行い、皆が参加したくなるような雰囲気づくり、社会的気運の醸成に取り組む必要があります。そして、実効性を持たせるためには、関係する行政機関や団体をはじめ、個人や家庭、地域、ボランティア団体、企業、学校、行政などが、それぞれ意識的に連携・協力して、奉仕活動・体験活動の推進に取り組むことが最も重要であると思います。

結びに、私たちが青少年プログラムの強化に務めることにより、我々の席を次世代に譲る日が訪れたときに、強い責任感と倫理観を持ったボランティア志向を備えた新世代が、私たちの場所を埋め尽くしてくれることになるでしょう。若い人々は私たちのほるか先に広がるロータリー未来への架け橋なのです。

若者たちに、そしてロータリアンの未来のために様々なプログラムを提供させていただきたいと思います。

GOVERNORS MESSAGE

2840 地区 2015-2016 年度 ガバナー 生方 彰

2016 年 5 月 青少年奉仕月間にあたって

※ インターアクト・クラブ

1960 年代の初めに、世界中のロータリアンの中から各大陸で 5 名を選抜し、委員会を構成し、ロータリークラブをモデルとして 12 歳から 18 歳までの高校生を対象として結成された奉仕クラブです。インターアクトの名称は「インターナショナル」と「アクション」の合成語であります。高校で会合を開き、教師一名と地元ロータリアンが顧問を務め、会員は、クラブを提唱した地元のロータリークラブと共に活動しています。

※ ローターアクト・クラブ

インターアクトが活発になってくると、18 歳以上の人たちに対する奉仕プログラムがないという、ロータリーとしての奉仕の流れの途切れに気付きました。そこで、1968 年アメリカのシャーロットロータリークラブで、18 歳から 30 歳までの若い人たちを集め、最初のクラブが発足しました。社会奉仕を志し、高い道德基準を備え、同じ奉仕を目指す人々との交友を求め活動を展開しています。

※RYLA は 1959 年にオーストラリアのブリスベン・ロータリークラブが主催し、10 代の若者たちが交流、文化、教育活動がぎっしりと詰まった日程に参加し、クラブは参加者の素晴らしさに感銘し、また参加者もこのプログラムがどれほど個人的成長を助けたかについて賛辞を惜しまなかったため、このプログラムは毎年継続・拡張され、オーストラリア国内に広がりました。1971 年 RI 理事会は正式にロータリー青少年プログラムとして、RYLA を採択致しました。RYLA とは Rotary・Youth・Leadership・Awards の略で、青少年指導者育成プログラムと訳されます。

※青少年交換はデンマークのコペンハーゲン・ロータリークラブが 1972 年アメリカの少年数人を受け入れる手配をしたことに始まりました。現在は国際ロータリーの常設プログラムです。15 歳から 19 歳までの多くの学生が数週間又は 1 年間という期間設定で他国のロータリアン家庭にホームステイしています。そして、自分の地域を越えた世界を意識し始めた年齢の彼らに異文化への配慮を教える素晴らしい出発点となっています。

※青少年奉仕は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、青年交換です。

参考引用資料

青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について (答申)

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm



REPORT

青少年交換委員長 横山 正男（高崎シンフォニー）

青少年奉仕月間によせて

ロータリーの青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じ、青少年や若者によって好ましい変化がもたらされること、などが期待されています。

インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリー青少年指導者養成(RYLA:Rotary Youth Leadership Awards)、青少年交換プログラムは、国際ロータリーの常設プログラムとして国際ロータリー理事会がクラブと地区に推奨する体系的な活動です。

インターアクトクラブは、

12 ～ 18 歳までの青少年が集まって、活動するクラブです。

海外の友だちをつくる・自分のスキルや能力を伸ばす・楽しく活動に参加する

インターアクトクラブでは毎年、学校や地域社会のための活動と、国際理解をめざす活動を行います。

ローターアクトクラブは、

18 ～ 30 歳の若者が集まって、奉仕プロジェクトと交流活動を行うクラブです。クラブ会員は、2 週間に 1 度集まり、知恵を出し合って活動計画を立てます。ローターアクトクラブには、スポンサーとなるロータリークラブ(提唱ロータリークラブ)が支援を提供します。

RYLA は、

「ロータリー青少年指導者養成プログラム」(Rotary Youth Leadership Awards、通称「RYLA」)のイベントです。14 歳～30 歳が対象となります。RYLA は、クラブや地区(または複数地区合同)によって実施される、若者のためのリーダーシップ養成プログラムです。



NEXT PAGE



REPORT

青少年交換委員長 横山 正男（高崎シンフォニー）

青少年奉仕月間によせて

青少年交換プログラムは、

青少年交換学生の対象は、15歳～19歳で概ね高校生になります。学生は交換先の地区委員会の指導の下に一定期間、外国のロータリアンの家庭でホストされ、その家族の一員として過ごし、現地の学校に通学してありのままの生活体験をし、その国の風習・習慣等を検分しながら、国際理解と国際親善を推進するものです。今年度からグローバル補助金を利用した財団奨学生の派遣も始めることとしております。

親元を離れ、言語や文化や生活習慣が全く違う外国へ一人で行き、1年間複数の家庭にホームステイしながら学校で勉強することは、不安や戸惑いやプレッシャー等々計り知れないものがあります。これらを乗り越え、ロータリー行事の参加やその地域での体験などを含め、多くの経験を自分の中で消化することにより、大きな成長の礎につながります。

人生を変えるような貴重な経験を若者に味わってほしい。そんな思いをかたちにできるのが「ロータリー青少年交換」です。学生たちが新しい文化や習慣に触れることで、グローバルな理解が芽生え、平和の土台が築かれます。

今年は5名の学生がアメリカに行き、5名の学生が日本に来ております。次年度も5名の学生の相互交換を予定し、派遣学生のオリエンテーションや受入クラブ向けオリエンテーションを実施しております。

大変な側面は多々ありますが、クラブにとっても貴重な経験が出来、充実したプログラムとしてクラブの資産になるものと思います。

今後とも、青少年奉仕に対する会員の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



REPORT

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害に係る義援金について

募金についてのお礼とご報告

平成 27 年 10 月 20 日までに皆様からお寄せいただきました義援金の総額は 2,903,460 円 となり、下記の通り送金しましたことをご報告いたします。

会員の皆様からたくさんのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

配分先		
県 名	地 区	金 額
茨城県	第 2820 地区	1,403,460
栃木県	第 2550 地区	750,000
宮城県	第 2520 地区	750,000
合 計		2,903,460

原 資		
種 別		金 額
会 員	第 2840 地区	2,843,460
地区大会	記念チャリティゴルフ	60,000
合 計		2,903,460



2520 地区の地区大会にて感謝状の楯を授与されました。

熊本地震復旧支援募金的心愿い

4 月 14 日に発生し現在も大きな余震により、壊滅的な被害を受けております熊本を中心とする熊本県熊本地方に対する支援の募金について緊急にお願い申し上げます。

地区といたしましては、緊急の支援金をとりまとめて送金したいと存じます。各クラブにおかれましては、決して強制ではありませんが、会員 1 人当たり 1,000 円を目安に寄付を募って頂ければ幸いです。

急なお願いで恐縮ですが、5 月末日(火)までに、クラブで取りまとめていただき送金お願い申し上げます。ガバナー事務所で責任をもって 2720(熊本・大分県) 地区に送金いたします。

なお、今回のお願いは、クラブで個別に友好クラブ等を通じて行う支援を妨げるものではありません。詳細に関しましては、別送の各クラブ会長あて資料をご覧ください。

ご協力をよろしくお願いいたします。

INTERCITY MEETING

第5分区 IM 報告



IM 実行委員長 桑原 裕 (沼田ロータリークラブ)

第五分区 IM が 3 月 13 日 (日) 沼田ホテルベラヴィータに於いて生方ガバナー、横山パストガバナー、豊川ガバナーエレクト、田中ガバナーノミニ、小野地区幹事、藤井地区副幹事のご臨席を賜り開催致しました。沼田クラブ、昨年に続き二回目の IM が開催されました。

今回の IM のテーマのもと「エンジョイ ロータリーⅡ」が開催されるにあたり、生方ガバナーのスローガン「奉仕、真実、喜び」であり楽しいロータリーライフとクラブの活性化の為にロータリアン同士の友情のもとで名刺交換を多いに実行して頂き互恵の関係まで生まれれば多に職業奉仕にもなりますので、大いに楽しんで頂けたものと感じています。本年度も各クラブより 3 名位の意見発表者をお願い致しました。

- 1 ベテラン会員発表ではロータリーの楽しさや 100%出席の思いや、様々なジャンルの話をしっかり発表されました。
- 2 入会 5 年未満の会員はロータリーに入会して最近自分が変わった事や四つのテストを理解して会社の方針とも成っていますという素晴らしい発表もありました。
- 3 女性会員の方は入会 3 ケ月～3 年の二人でしたがまだロータリーが分からないまま不安もありますが頑張りたいと力強い発表もあり有意義で素晴らしい IM で有ったと思います。

発表者は、渋川 RC 薄井正幸、後藤伸一郎、関口理子、中之条 RC 都筑秀雄、佐藤博美、渋川みどり RC 近内尚志、春山和久、沼田中央 RC 小澤博之、宮川陽治、原澤ふじ子、沼田 RC 櫛節光彦、宮田徳彦、の皆様でした。生方ガバナーのまとめの挨拶では講評ではオール 5 の評価を頂きました。尚会員増強と財団寄付目標達成に付いて強くお願いがありました。

尚懇親会の部におかれましても名刺交換に始まりアトラクションは地元みなかみ町に事業所が有ります、谷間のゆりフラダンススタジオのインストラクター 9 名により、9 曲の演目を披露して頂きまして、華やかなフラダンスショーで有りました。懇親会では地域とのふれあいを大切に、酒蔵さんの 7 社の提供で酒蔵ツーリズム、より美味しいお酒や地ビール等でロータリーを皆でエンジョイすることが出来まして、親睦による第五分区の活性化の為に成ったことと感じ、有意義な IM で有った一日でした。



INTERCITY MEETING

第二分区B IM 報告



ガバナー補佐 下田 進

桜が咲き始めた 3 月 27 日(日)に第二分区B(伊勢崎 5RC)の IM が伊勢崎市のプラザ・アリアにて、生方ガバナー、牛久保パストガバナー、小野地区幹事、野村地区副幹事を来賓にお招きし、盛大に開催されました。平均年齢の若いホストクラブの伊勢崎南ロータリークラブらしい開催テーマ『「 やっちゃえ」ロータリー!』を掲げ、奉仕の理想を学び、喜びを共有することを目的に以下プログラムで行われました。

第一部①の公演(40 分)では、はせがわファミリーによる「世界へのプレゼントになろう・・・スターリィマンからの贈り物」というタイトルで紙芝居朗読を行いました。はせがわファミリーは、父が絵を描き、母がストーリーを創作し、娘が語り手として、東北の被災地など、全国各地を回り、スターリィマン(「星のように輝く人」という作品の中の主人公)というキャラクターを主人公とした紙芝居を通じ、子供たちに夢や希望、そして愛、友情、信頼などを感じてもらおうと、社会貢献活動をしています。その思いは、まさにロータリーの奉仕の心に通ずるものがあると感動いたしました。

そして第一部②では、各クラブのベテラン会員・入会 5 年以内の会員・女性会員による意見発表会が行われました。経験豊富なベテラン会員ならではの言葉の重みや、入会 5 年以内会員による、率直な意見や斬新な発想、そして、男性には気付きにくい女性会員目線でのロータリー感など、マニュアルには無い、ロータリーの本質が分かったような気がします。第二部(懇親会：120 分)では、はせがわファミリーによるストリートオルガンでの演奏で始まり、牛久保パストガバナーの乾杯挨拶の後、大いに盛り上がりました。

今回の IM を通じ、ロータリーの知識の向上と、生方ガバナーの IM 指針の一つでもあった「面識を広め、より親睦を図る」ことにより、伊勢崎 5 クラブの絆をより一層深める事ができたと思います。

第一部② 各クラブ意見発表(15 名 × 4 分=60 分)

伊勢崎ロータリークラブ	(茂木克美、伊藤進太郎、高橋しげみ)
群馬境ロータリークラブ	(石原順一、赤石光裕、川越壬英子)
伊勢崎中央ロータリークラブ	(小林正弘、大木学、高橋淳子)
伊勢崎東ロータリークラブ	(小暮哲夫、小倉正志、臂泰雄)
伊勢崎南ロータリークラブ	(福島敬仁、目木和良、田原明美)



NEW MEMBERS

新会員紹介



氏 名 反町 光輝
ク ラ ブ 高崎シンフォニー
入 会 日 2016.3.4
職 業 分 類 自動車整備
勤 務 先 (有)反町自動車ボデー
役 職 代表取締役
推 薦 者 長井 典夫



氏 名 高木 勝章
ク ラ ブ 太田中央
入 会 日 2016.4.1
職 業 分 類 理容業
勤 務 先 理容ひづる
役 職
推 薦 者 松本 徹



氏 名 岩井 和美
ク ラ ブ 前橋北
入 会 日 2016.3.7
職 業 分 類 建物管理業
勤 務 先 株)GUNSHO
役 職 代表取締役
推 薦 者 林 豊



氏 名 戸澤 健
ク ラ ブ 高崎南
入 会 日 2016.4.5
職 業 分 類 医療用機械器具卸売業
勤 務 先 (株)メディコ
役 職 代表取締役社長
推 薦 者 花井好機 清水正郎



氏 名 加藤 渉
ク ラ ブ 高崎
入 会 日 2016.3.15
職 業 分 類 証券業
勤 務 先 みずほ証券(株)高崎支店
役 職 支店長
推 薦 者 田中 久夫



氏 名 本井 伸明
ク ラ ブ 高崎セントラル
入 会 日 2016.4.5
職 業 分 類 穀物卸商
勤 務 先 株)本井新太郎商店
役 職 代表取締役
推 薦 者 松澤 達也



氏 名 岡田 雅一
ク ラ ブ 館林
入 会 日 2016.4.1
職 業 分 類 瓦・屋根外装工事業
勤 務 先 有)岡田瓦店
役 職 代表取締役
推 薦 者 宮内敦夫・小池敏郎



氏 名 池内 徹也
ク ラ ブ 高崎セントラル
入 会 日 2016.4.5
職 業 分 類 都市ホテル
勤 務 先 日本ビューホテル(株)
高崎ビューホテル
役 職 営業課支配人
推 薦 者 高木 賢治



氏 名 飯塚 一成
ク ラ ブ 館林
入 会 日 2016.4.1
職 業 分 類 建築業
勤 務 先 (有)飯塚工務店館林営業所
役 職 専務取締役
推 薦 者 原 初次・小池敏郎
石川長司



氏 名 岡部 修久
ク ラ ブ 伊勢崎
入 会 日 2016.4.6
職 業 分 類 不動産業
勤 務 先 伸和地産(株)
役 職 代表取締役
推 薦 者 牛久保哲男

NEW MEMBERS

新会員紹介



氏 名 新井 仁
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2016.4.6
職 業 分 類 医薬品製造
勤 務 先 協和発酵キリン(株)
高崎工場
役 職 工場長
推 薦 者 安藤震太郎



氏 名 蔵 敏之
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2016.4.12
職 業 分 類 医薬開発
勤 務 先 協和発酵キリン(株)
バイオ生産技術研究所
役 職 研究所長
推 薦 者 藤澤 茂



氏 名 南波靖一郎
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2016.4.6
職 業 分 類 火災保険
勤 務 先 あいおいニッセイ
同和損害保険(株)
役 職 群馬自動車営業部長
推 薦 者 滝澤 政吉



氏 名 宮田 伸之
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2016.4.14
職 業 分 類 団体生命保険
勤 務 先 日本生命相互会社
伊勢崎営業部
役 職 営業部長
推 薦 者 小野 岳彦



氏 名 川島 利昭
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2016.4.6
職 業 分 類 ホテル
勤 務 先 日本ビューホテル(株)
高崎ビューホテル
役 職 総支配人
推 薦 者 横田貞一 廣瀬正史



氏 名 根津 良彦
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2016.4.20
職 業 分 類 情報処理関連機器販売
勤 務 先 富士ゼロックス群馬(株)
役 職 代表取締役社長
推 薦 者 横田 貞一



氏 名 荒井 孝宣
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2016.4.7
職 業 分 類 運送業
勤 務 先 有)VS.Transport
役 職 代表取締役
推 薦 者 滝川 勝賢



氏 名 小林 正知
ク ラ ブ 太田
入 会 日 2016.4.21
職 業 分 類 生命保険
勤 務 先 第一生命保険(株)
太田支社
役 職 支社長
推 薦 者 石川 重政



氏 名 樋口 治男
ク ラ ブ 伊勢崎中央
入 会 日 2016.4.7
職 業 分 類 鋼材加工
勤 務 先 株式会社 山村
役 職 取締役支店長
推 薦 者 富岡中央 RC
勅使河原正己



氏 名 淡島 信二
ク ラ ブ 高崎セントラル
入 会 日 2016年3月1日
職 業 分 類 プレス加工
勤 務 先 淡島工業株式会社
役 職 代表取締役
推 薦 者 高木 賢治

ROTARY LIBRARY

文庫通信 (344 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「Rotary Magic」 江崎柳節 2016 12p (D.2710 月信地区大会特集号)
- ◎「ロータリーにおける意志と信頼」 ビチャイ・ラタクル D.2550 2015 43p
(D.2550 地区大会記念講演)
- ◎「ポール・ハリスとロータリー」 諏訪昭登 2016 7p
- ◎「入り手学ぶ奉仕の心」 安孫子貞夫 2016 4p (D.2800 月信)
- ◎「ロータリーは円形ではない。楕円形である。」 塚原房樹 2016 1p (D.2510 月信)
- ◎「転轍手待望論」 塚原房樹 2016 2p (D.2510 月信)
- ◎「クラブ定款は自分のクラブ独自のものか？」 櫻木英一郎 2016 1p (D.2790 月信)
- ◎「ロータリーの目的 その1～4」 深川純一 2015 4p (純ちゃんのコーナー Part XIV)
- ◎「決議 23-34」 東大阪みどり R.C. 2016 2p (ロータリーの歴史に学ぶ)

[上記申込先：ロータリー文庫]

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ATTENDANCE BOOK

出席報告 3月

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2,016	2,081	2,077	-4	123	79.81

クラブ名		例会数	出席率(%)	会員数				
				年度初	月初	月末	増減	女性
第1分区	前橋	4	75.39	117	117	116	-1	10
	前橋西	4	86.76	60	59	59	0	5
	前橋東	4	84.70	67	68	68	0	6
	前橋北	3	80.46	69	70	71	1	3
	前橋南	4	97.06	32	33	34	1	1
	前橋中央	4	78.85	26	31	31	0	7
	合計		83.87	371	378	379	1	32
第2分区A	桐生	3	79.07	66	67	70	3	6
	桐生南	5	82.31	24	26	26	0	1
	桐生西	4	84.87	64	65	64	-1	4
	桐生中央	5	70.00	25	23	23	0	4
	桐生赤城	4	86.29	42	44	44	0	8
	合計		80.51	221	225	227	2	23
第2分区B	伊勢崎	4	91.67	72	80	80	0	3
	群馬境	4	81.78	25	27	26	-1	1
	伊勢崎中央	4	86.69	73	79	78	-1	2
	伊勢崎南	5	77.86	27	28	28	0	1
	伊勢崎東	3	83.87	30	31	31	0	1
	合計		84.37	227	245	243	-2	8
第3分区	高崎	3	82.76	115	112	113	1	8
	高崎南	4	71.58	65	68	67	-1	7
	高崎北	5	70.00	64	67	63	-4	0
	高崎東	5	75.98	39	40	40	0	1
	高崎シンフォニー	4	79.76	39	40	42	2	4
	高崎セントラル	4	73.68	36	34	34	0	0
	合計		75.63	358	361	359	-2	20

クラブ名		例会数	出席率 (%)	会員数				
				年度初	月初	月末	増減	女性
第4分区A	太田	5	88.57	72	73	70	-3	3
	太田西	5	89.75	18	17	17	0	2
	太田南	4	83.31	43	45	44	-1	
	新田	4	82.35	16	17	17	0	0
	太田中央	4	82.08	48	53	53	0	2
	合計		85.21	197	205	201	-4	8
第4分区B	館林	4	82.00	49	48	50	2	2
	大泉	5	77.41	32	32	32	0	2
	館林西	5	78.09	21	22	22	0	1
	館林東	5	75.20	23	25	25	0	3
	館林ミレニアム	5	90.33	26	26	26	0	0
	合計		80.61	151	153	155	2	8
第5分区	渋川	5	96.94	51	56	55	-1	5
	沼田	5	69.32	60	68	68	0	1
	草津	4	51.39	17	17	18	1	0
	中之条	4	77.73	21	21	20	-1	1
	沼田中央	5	69.67	55	62	62	0	4
	渋川みどり	4	68.25	41	40	40	0	2
	合計		72.22	245	264	263	-1	13
第6分区	富岡	4	86.60	46	47	47	0	4
	藤岡	4	87.00	44	51	51	0	2
	安中	5	65.64	34	39	39	0	0
	藤岡北	5	91.05	18	17	17	0	2
	富岡中央	4	87.50	39	39	39	0	1
	碓氷安中	4	60.98	15	11	11	0	1
	藤岡南	3	80.96	21	18	18	0	1
	富岡かぶら	4	67.85	29	28	28	0	0
	合計		78.45	246	250	250	0	11

INFORMATION

ガバナー事務所より

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : ubukata@rid2840.jp

ガバナー月信のお願い

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 ubukata@rid2840.jp まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、JPEG データでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

第 2840 地区ガバナー・ガバナーエレクト事務所 ゴールデンウィーク休暇のお知らせ

当事務所は2016年4月29日(金)～2016年5月6日(金)の期間中「ゴールデンウィーク休暇」を取らせて頂きます。何卒宜しくお願い申し上げます。

旧土岐家住宅洋館 登録有形文化財 / 群馬県沼田市

大正13年(1924)建設。木造2階建屋根裏部屋付、天然スレート葺、建築面積119平方メートル。江戸時代に沼田藩主を勤めた土岐家の東京渋谷にあった邸宅の洋館部を平成2年に現在地に移築したもの。大正末期から昭和初期にかけて特徴的にみられたドイツの郊外別荘風住宅。屋根窓(「牛の目」窓)は、1階のドイツ風壁仕上げと合わせ、様式的特徴の精髓となっている。外観は洋風だが、内部は和風と洋風の両方の接客室をもつ擬洋風建物。大正期の大邸宅に建てられた洋館の好例である。

所在地：沼田市西倉内町594 沼田公園内

入館料：大人100円、子ども40円